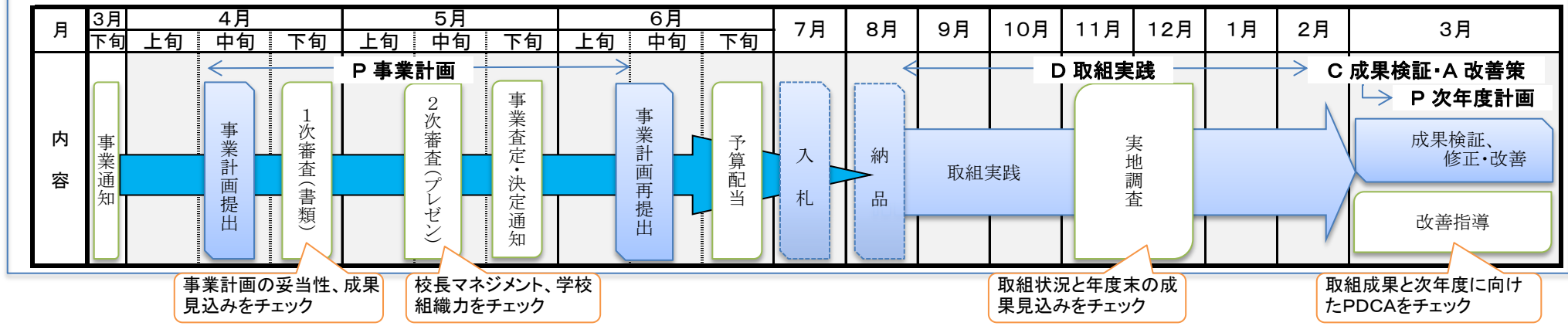


# 平成30年度「学校経営推進費」概要

## 【PDCAサイクルによる事業の推進】

目的: 府が指定する項目に対し、PDCAサイクルによる高い効果が見込まれる事業計画を提案する学校に支援を行うことで、校長の学校マネジメントを強化  
 ポイント: 事前に具体的な評価指標を提示。支援初年度から3年間にわたり進捗状況と成果検証を行い、必要に応じて改善を検討・実施

## 【事業スケジュール】



## 【主な変更点】

- (1) 同一敷地内にある併設校や併置校が合同で本事業に応募することも可とする。
- (2) 従来の課題設定「A 英語教育の充実」は、「B グローバル人材の育成」に統合する。
- (3) 「TOEFL iBTコンプリートプラクティステスト」の経費については、予算配当の対象としない。

(昨年変更した点)

- (1) 1校当たりの予算の上限額を原則600万円から500万円とする。
- (2) 事業に応募できる成果指標(A~E)について、過年度支援校の同指標での応募を可能とする。ただし、事業内容の重複は不可とする。
- (3) 課題A 英語教育の充実について、実施終了により【評価指標】から「TOEFL Junior Comprehensive」を削除する。

## 【課題設定と評価指標】

### A グローバル人材の育成

【評価指標(例)】 ・科学の甲子園における成績の向上  
 ・実用英語検定準2級以上合格者の割合 ・「GTEC CBT」「TOEIC&TOEIC SW」の目標スコアの達成  
 ・TOEFL iBT30点以上獲得者の割合 等

### B 生徒の希望する進路の実現

【評価指標(例)】 ・希望進路実現率の向上 ・就職率の向上 ・国公立大学進学者数の増加 ・難関私立大学進学者数の増加 等

### C 生徒の学力の充実

【評価指標(例)】 ・外部機関の客観的学力診断テストにおける学力の向上 ・資格取得者数の増加 ・全国的な学力コンクールでの顕彰 等

### D 生徒の自立支援

【評価指標(例)】 ・中途退学率の減少 ・進級卒業率の向上 ・不登校の減少 ・支援学校における児童・生徒・保護者の学校満足度の向上  
 ・支援学校における地域連携と外部への情報の発信 等

※(A~D) 「学校教育自己診断」の項目で判断の指標となるもの、設置・整備した空間(スペース)の活用(人数や回数)等を指標とすることも可とする。

## 【支援対象とならない学校】

- (1) グローバルリーダーズハイスクール
- (2) 平成25・26・27・28・29年度の本事業支援校は、同じ内容で応募できない。
- (3) 他事業で支援を受けている学校は、当該の課題で応募できない。(国事業を含む)